

平成27年度

まちづくり懇談会実施結果報告書

(御幸地区)

宇都宮市総合政策部広報広聴課

**平成27年度 第8回  
まちづくり懇談会《御幸地区》実施結果報告書**

この実施結果報告書は、まちづくり懇談会《御幸地区》における発言の要旨をまとめたものです。

- 1 開催日時 平成27年11月2日（月）午後7時～午後8時30分
- 2 開催場所 御幸地域コミュニティセンター
- 3 参加者数 29人（市出席者除く）
- 4 市出席者 市長，総合政策部長，広報官，地域まちづくり担当副参事，  
東市民活動センター所長，都市基盤保全センター所長，広報広聴課長

5 懇談内容

(1) 地域代表あいさつ

御幸地区コミュニティ協議会会長

(2) 市長あいさつ

(3) 地域代表意見

No.	テ ー マ	所管課
1	御幸小学校校庭の整備について	学校管理課
2	御幸小学校のプールの改善について	学校管理課

(4) 総合計画の6つの柱に基づく意見交換

テ ー マ		
市民の安全で健康な笑顔あふれる暮らしを支えるために		
(1) 保健・医療サービスの質を高める		
(2) 高齢期の生活を充実する		
(3) 都市の福祉力を高める		
(4) 日常生活の安心感を高める		
No.	意 見	所 管 課
1	歩道に面した石蔵について	生活安心課
2	防犯マップの作成について	みんなでまちづくり課， 生活安心課

(5) 自由討議

No.	要 望	所 管 課
1	コミセンの前の道路の補修について	道路保全課
2	市営御幸公園への大人使用可の健康遊具の設置について	公園管理課 健康増進課
3	奈坪川の改修工事について	河川課
4	高齢者の地域活動への参加促進について	みんなでまちづくり課 高齢福祉課
5	御幸公園への照明灯の増設について	公園管理課

(6) 市長謝辞

## ■地域代表意見 1（要旨）

<b>テーマ</b>	<b>御幸小学校校庭の整備について</b>
------------	-----------------------

御幸小学校の校庭は以前から雨水はけが悪く、雨が降った後は校庭に水溜まりができ、雨水がなかなか引かない。特に雨の多い梅雨時期や秋の長雨の時期、今年のように台風が連続して近づいたりした時は雨水が引くのに時間がかかる。

雨の時は、学校の授業は勿論できなくなり、地域で開催される体育祭・文化祭等、各種団体による事業、スポーツ少年団も含め翌日に延期となるが、水はけが悪いため校庭には水溜まりが残っており、行事の進行を妨げることになる。児童達が校庭を走り回ったり、遊んだりする時や体育の授業に支障をきたす状態である。地元のスポーツ少年団も校庭を利用している。このような状態のままであると当然活動に「支障をきたすことになる。

御幸小学校校庭での主な利用状況は、「御幸小学校の体育授業及び運動会」、スポーツ少年団、「御幸地区運動会」、「御幸地区文化祭・夏祭り」、「地域災害避難所・防災訓練」である。

小学校は、学校の授業、行事だけに使用されるのではなく、子どもから高齢者まで地域住民が集う場所であるため、御幸小学校の校庭の整備を要望する。

<b>回答</b>	<b>所管課： 学校管理課</b>
-----------	-------------------

【市長】

私もPTA会長をしていた時に、校庭の水はけが悪く、大きな水たまりができるので、毎回その水取りに苦勞をしていた。そこで、車の乗り入れをやめようと考えたのだが、御意見のとおり、学校の行事やそれ以外の行事でも車の乗り入れが必要になるため、実行できなかった。

市では、必要に応じて校庭の整備を行っている。その内容は、市で所有しているグレーダー等を使用し、砂や土を入れ、なるべく水はけをよくし、表面反射ができるようにし、傾斜を付けつつ平らにしてきた。

現在、御幸小学校は校舎の耐震補強工事を行っており、校庭を駐車場として使用しているので、余計にひどくなっているのだと思う。

工事車両などの出入りも影響していると思うので、耐震補強工事終了後、水溜まりができないよう、すぐに整備をする。

おそらく、何年か経つと、また同じような状況になるかもしれないので、その時はすぐ言っていただければ、整備していく。

## ■地域代表意見 2（要旨）

<b>テーマ</b>	<b>御幸小学校のプールの改善について</b>
------------	-------------------------

御幸小学校のプールは、昭和 48 年 7 月 17 日に完成し、42 年を経過している。その当時からプールの規格が本来縦の長さが 25 メートルあるべきところ、20 メートルし

かない。

遊具や、体力作りだけを考えれば現在のままで問題は無いかと思われるが、ほかの小学校と記録等を競ったりするとき、精神面も含め、日頃の成果が現れるのではないかと思う。

また、水のろ過器も老朽化しており、児童の健康面を考えると即急に改築を要望する。

<b>回 答</b>	<b>所管課： 学校管理課</b>
------------	-------------------

【市長】

93校の中で、25メートルでないプールは御幸小だけであり、競技は25メートル、50メートル、100メートルとなっているので、競技の点で御指摘をいただくと本当に胸が苦しくなるが、授業で泳ぐ技術の習得や水に慣れ親しむことについては差支えないと思う。

なぜプールが20メートルになってしまったのかについては、敷地が狭いので、東側に校舎を寄せ、西側に校庭を広く取るため、プールが狭くなったと伺っている。

また、プールの改築費用は約1億3千万円かかるので、プールを新しく改築するのは難しい。

ろ過器については毎年点検をしており、現在、機能が不全ということはない。当然、悪くなればろ過器の交換やメンテナンスも行っていく。また、現在プール内部の塗装工事を行っており、コースのラインも新しく塗装をして、11月末には終了する見込みである。

プールを新しく作り直す時は25メートルにしなければならないが、具体的な時期は言及できないが、校舎や体育館の改築等の時期に合わせて、校舎や校庭が狭くならないように配慮しながらプールを25メートルにしていきたい。

## ■総合計画の6つの柱に基づく意見交換（要旨）

<b>テーマ</b>	<b>市民の安全で健康な笑顔あふれる暮らしを支えるために</b> <b>(1) 保健・医療サービスの質を高める</b> <b>(2) 高齢期の生活を充実する</b> <b>(3) 都市の福祉力を高める</b> <b>(4) 日常生活の安心感を高める</b>
------------	--

総合計画とは宇都宮のまちづくりの最も基本となる計画であり、つまりは羅針盤といえるものである。

全市民の5年後の幸せ、100年先のことも考えた都市の繁栄に向けた道筋を示したものである。

(1) 保健・医療サービスの質を高める

65歳以上の老年人口は22パーセントを超え、「超高齢社会」に突入しているが、医

療・介護・福祉のさらなる連携が必要である。

こうした中で、全ての市民が心身ともに健やかで充実した生活を送るためには、日々の健康づくりを推進して、「平均寿命」だけでなく「健康寿命」を延ばすことが重要である。

全国の平均寿命は、女性が約 86 歳、男性が約 80 歳である。それに対し、健康寿命は約 74 歳になる。宇都宮市の場合は女性の平均寿命約 86 歳に対して健康寿命が 83 歳、男性は約 80 歳に対して約 78 歳である。この健康寿命と平均寿命の差があればあるほど、寝たきりや様々な病気にかかることにもなるので、健康寿命と平均寿命をなるべく近づけることが必要である。

また、健康づくりには運動だけでなく、食生活の改善も図り、肥満や生活習慣病を予防するため食育を実践することも必要となる。御幸地区では、御幸公園において、毎朝ラジオ体操を実施されていると伺っている。いつまでも健康に生活するためには、日々の健康づくりを推進するとともに、住み慣れた地域で質の高い保険医療サービスを受けられることが重要となる。

このようなことから、「市民の皆様が、自らの健康づくりに積極的に取り組み、充実した保健医療サービスの提供を適切に受けています。」を望ましい姿として目標に設定した。

目標達成に向けた主な事業であるが、「地域の健康づくりの実践活動の推進」、「生活習慣病、がんや糖尿病等の発症予防・重症化予防の推進」、「救急医療の体制の充実強化」等があげられる。

特に生活習慣病の予防対策では、特定健診において、糖尿病の発症、重症化を予防するための検査である HbA1C（ヘモグロビン・エイワンシー）検査を取り入れた。

主な施策指標は「夜間・休日における市内二次救急医療機関の救急搬送患者の受入率」、「国民健康保険被保険者一人当たりの医療費の増加率」である。

## （2）高齢期の生活を充実する

少子・超高齢化や核家族化の進行により、ひとり暮らし世帯や認知症などの介護を必要とする高齢者の増加が見込まれるなど、地域におけるケア体制の充実が求められるとともに、豊富な経験や知識、技術を持った元気な高齢者が、まちづくりの担い手として活躍することが期待されている状況である。

こうした中で、高齢者がいつまでも介護を必要とせずに、住み慣れた地域で健康で生きがいを持って、安心して暮らせるよう、健康寿命の延伸に向けた介護予防の充実を図るとともに、元気な高齢者が地域の中で活躍できる仕組づくりが重要である。

御幸地区の夏祭り、文化祭で行っている「昔遊びを教えるコーナー」のような、子どもと高齢者が交流できる場が必要になってくる。

また、地区内では、鬼怒地域包括支援センターが主体となって、介護予防教室（はつらつ教室）を毎月開催してもらっている。

高齢期の生活を充実させるためには、高齢者の方がいつまでも健康で生きがいを持って、住み慣れた場所で、安心して生活ができることが重要である。

こうした理由から「高齢者が自らの介護予防に積極的に取り組み、住み慣れた地域の中で、健康で生きがいを持ち、また、介護が必要になっても尊厳を保持しながら、

安心して自立した生活を送っています。」を望ましい姿として目標に設定した。

目標達成に向けた主な事業は、「高齢者の社会参画の推進」、「認知症高齢者等対策の充実」、「介護保険事業の充実」などである。

高齢者の方にいつまでも生き生きと支える側になっていただくために、「高齢者等地域活動支援ポイント事業」を平成26年から実施した。

これは社会福祉協議会ボランティアセンターに、団体・グループとして登録をして、団体が取り組む清掃ボランティアや、介護予防自主グループの活動に参加すると1ポイント100円相当が付与される。

貯めたポイント数に応じて、市の施設利用券やバスカードへの交換、ボランティア団体の寄付などが可能となっており、ポイント交換実績として、平成27年5月末時点で約40万円相当分の交換が実施され、その内、約15万円分がボランティア団体への寄付、約11万円分が図書カードに交換された。

### (3) 都市の福祉力を高める

少子・超高齢化や核家族化の進行、雇用形態の多様化、生活困窮世帯の増加などにより、地域での支え合いや、安定的で良質な保健・福祉サービスがこれまで以上に求められている状況である。

こうした中、地域の誰もが安心して暮らせるようにするため、地域で支え合う力を一層高めるとともに、「どこでも、だれでも、自由に、使いやすく」という「ユニバーサルデザイン」の理念に基づく、生活環境や移動環境の改善に向けた取組など、都市の福祉基盤の総合力を高めることが重要である。

本市においては、高齢者や障がい者を含め、誰もが安心して暮らせる地域づくりを行うため、地域の事情に応じた福祉活動が展開できるネットワークの形成や、公共施設のバリアフリー化を進めている。

御幸地区も他地区と同様に、自治会、民生委員等が連携し、「ひとり暮らし高齢者」や「老々世帯」などの見守り支援活動や、「ひとり暮らし高齢者」を対象とした給食会を毎月開催していると伺っている。

地域の誰もが安心して生活を送るためには、地域や事業者などとの連携強化に努めながら、地域住民の皆様がともに手を取り合って、助け合い、支え合う地域づくりが必要である。

これらの理由から「充実した保健・福祉サービスにより、住み慣れた地域において自立した生活を送っています。」を、望ましい姿として目標に設定した。

目標達成に向けた主な事業は、地域福祉ネットワークの形成支援、孤立死防止対策の推進、生活困窮世帯への支援の充実等である。

主な施策指標は、「市有施設のバリアフリー化施設の割合」、「保健・福祉に関する相談取扱件数」などである。

### (4) 日常生活の安心感を高める

宇都宮市内での交通事故発生件数は、年々減少傾向にあるものの、依然としてマナーの低下などに起因する交通事故は後を絶たない。また、近年では、オレオレ詐欺や還付金等詐欺をはじめとした特殊詐欺被害が増加しているなど、市民の皆様への安全・安心な日常生活を脅かす状況になっている。

本市においても、平成27年2月に「第3次宇都宮市防犯対策推進計画」を策定し、特に「空き家・空き地の所有者等に対する適正管理の徹底」、「特殊詐欺対策の強化」、「様々な主体の連携による防犯活動の促進」の3点について、重点的に取組を進めることとしており、安全・安心なまちづくりを推進している。

御幸地区においても、自治会等による地域内パトロールが行われていると伺っている。

安全で安心な地域社会を築いていくため、地域ぐるみの活動を進めるとともに、市民・事業者・行政の連携を強め、日常生活の安心感を高めることが重要である。

これらの理由から「地域社会や事業者、行政が連携して、日常生活を取り巻きさまざまな不安を解消し、市民が、安全で安心した生活を送っています。」を望ましい姿として目標に設定した。

目標達成に向けた主な事業は、「地域の防犯環境整備の推進」、「交通安全教育の推進」などである。

平成27年度からは、防犯カメラ設置への助成を勧めている。防犯カメラの購入費用、設置工事の3分の2を補助する。重点地区においては、4分の3を補助する。防犯カメラの電気料金と修繕費は全額補助する。地区において積極的に推進していただきたい。

また、市立小学校、中学校全てに防犯カメラを設置した。

我々では出来ないことを補う1つの手法として、防犯カメラの設置を積極的に活用していただきたい。

主な施策指標は、「市内における人口千人あたりの刑法犯認知件数」、「交通事故発生件数」などである。

## 発言 1 歩道に面した石蔵について

朝、見守り活動をやっているが、御幸小学校の東側の通りは歩道が片側にしかない。幅約1メートルの歩道を自転車や子ども達が行き来する。立哨している場所に大谷石の石蔵がある。その石蔵のひさしが歩道に掛かっている。東日本大震災後、一部が落下しており、3年前、御幸小学校PTAを通じて市に相談したが、所有者が介護施設に入っているようである。法律上の問題があると思うが、落下防止の設備を取り付ければ、子ども達への危険を防げると思う。空き家に対する法律や条例により、すぐに対応をお願いする。

## 回答 所管課：生活安心課

【市長】

所有者が施設入居中とのことだが、家族や相続人などの関係者が分かれば、市が直接連絡をして安全対策の対応をしていただくようお願いしている。

もし、完全な空き家であれば、「宇都宮市空き家等の適正管理及び有効活用に関する条例」を適用することになる。市が持ち主に連絡をして、安全対策を施すように依頼



する。対応していただけないとなると市としても最終的には、相手方の承認を求めず市が対処をする。悪質な場合には名前の公表、罰金を課すことが条例ではできなくなった。

所有者が明確に分かっている物件だと思うので、まずこちらからお願いをしていく。

## 発言 2 防犯マップの作成について

御幸地区防犯部会では、防犯マップを作成したいと考えており、ある程度内容が充実してきたので、全地区に先駆けて、防犯マップを作成しようとしている。

防犯マップの作成は、周りに好循環をもたらす。防犯部会だけでなく子ども会や老人会、自治会など総動員体制で作成しない防犯マップは作成できないので、取り仕切るのは防犯部会だが、地区をあげてやることになると思っている。

防犯部では会員証を作り、日頃から防犯に関する色々なチェック事項等をメモしてもらうため、各家庭2部ずつ配布しており、新聞にも掲載された。これは毎年いただいている助成金で作成している。

今年度は、防犯に関して尽力したグループ等に、防犯部が感謝状を出すということをやっている。

いずれにしても、地域として最重要課題と思っているのは、防犯マップ作成である。こういう点が利点である、こういう点が問題だとか、いろいろあるが、ぜひ、防犯マップ作成にあたり、行政に力を添えてほしい。

## 回答 所管課： みんなでまちづくり課、生活安心課

【市長】

様々なバッジや啓発物を作っていただいているが、自治会やまちづくり協議会の様々な補助制度の中で総合的な経費に使えるメニューがあるので、それを活用していただきたい。

また、防犯マップが市全体に波及していけば、これは素晴らしい事業だと思うので、生活安心課とみんなでまちづくり課が一体となり、いただいた御意見を検討していく。

なお、携帯電話にあらかじめ登録していただくと消防車の出動状況や不審者情報が分かるメール配信サービスも行っているので、活用していただきたい。

子ども達の通学に係る安全点検も行っており、みんなで力を合せば必ず防犯マップの作成ができると思うので、市としては、生活安心課とみんなでまちづくり課が一体となり検討し、その状況について連絡していく。

## ■自由討議（要旨）

### 発言 1 コミセンの前の道路の補修について

4年前のまちづくり懇談会でコミセンの前の道路のアスファルト補修をお願いした

が、まだ実施されていない。何度か道路保全課へ行き、3件の所有者を調べてもらったが、なかなか承諾をいただけないということで、そのままになっている。何度も市に行ったが、担当者が変わったり、上司と相談して実施するという事で年数が経ってしまった。

それで最後に市長にお願いするしかないということで今年1月21日に市長へメールをしたが、返事が来なかったのので、また道路保全課へ行った。そうしたところ、検討して、26年度中は無理だが、27年度には何とかするとの回答だった。それからずいぶん経ち、8月20日前後に道路保全課へ行ったところ、所有者の承諾が得られたとのことだった。9月に測量を行い、測量が終り次第実行すると担当者の話だったが、未だ実施されていない。私道なので、承諾をもらうことが非常に困難だったことはわかるが、早急に実施をお願いしたい。

<b>回 答</b>	<b>所管課：広報広聴課，道路保全課</b>
------------	------------------------

【市長】

市長へのメールは5日以内で返信をしようとしているが、問題が難解で難しい場合はお時間がかかることもある。返信がなぜ漏れてしまったのか、後で調べるが、いずれにしても、所有者の方々に承諾していただけないと市が修繕を行うことは出来ないのので、所有者と交渉してきたところである。

【都市基盤保全センター長】

当該道路については、私道であるため所有者の承諾を得るのに時間がかかってしまった。工事については、測量等が終わり、現段階では発注手続きに入っている。間もなく業者の方も決まり、今年度中には補修工事が完了する見込みである。

<b>発 言 2</b>	<b>市営御幸公園への大人使用可の健康遊具の設置について</b>
--------------	----------------------------------

去年12月に約550万円をかけて、子供用遊具を公園開設以来40年ぶりに交換した。遊具を交換するにあたり、地区の子ども会の意見や自治会の意見等を聞いていただき、自治会としても会議を持ち、市へ要望をして5種類の遊具を設置していただいた。40年ぶりに遊具が更新され、平成26年1月1日に自治会をあげて落成式を実施し、安全利用の宣言を行った。

自治会の福祉部会では、毎朝6時半から公園でNHKのラジオ体操をやっており、約30名が集まり、今年で3年目になる。

ぜひ、健康のために大人用の健康遊具を子ども達が遊ぶ遊具の近くに設置していただきたい。

<b>回 答</b>	<b>所管課：健康増進課，公園管理課</b>
------------	------------------------

【市長】

御幸地区は公園を有効活用していただいております、特にラジオ体操など、健康長寿の

ための取組を積極的に行っていただいている。市では大学の先生に監修していただき、「気軽にエンジョイMiy a運動」を今年作成した。ラジオ体操と一緒にやっていたくととても効果があるので、機会があれば取り組んでいただきたい。また、若い方々にも有効なのでぜひ広めていただきたい。

公園の健康遊具について、市としては、387か所の公園の遊具の老朽化に併せて更新している。更新の際には地元の方々の御意見を伺い、方向性を決めている。地元の方々はどのような公園にしたいのか、遊具の設置、その配置などを地元の方々と協議して決めているが、健康遊具についても子ども用遊具と併せて設置の相談をさせていただいている。

中には、子ども用遊具はいらないので高齢者用の健康遊具だけがほしいという意見や、またその逆もあるわけだが、公園の遊具についてはこのような基準で設置しているので御理解いただきたい。

健康寿命を延ばすことが必要な時代なので、高齢者のための遊具設置もスピードをもって行っていきたい。

### 発言 3 奈坪川の改修工事について

私は奈坪川の近くに住んでおり、大雨のたびに浸水被害を受けている。

奈坪川は2008年4月に一級河川に指定された。その年の8月16日に集中豪雨に見舞われ、11棟の床上、床下の浸水被害があった。

同年8月末に市が奈坪川と奈坪川に繋がる石川と谷田川など、3河川の整備を2008年1月から20年間で総事業費114億円の事業計画を立てた。工事は下流からということで、JR宇都宮駅東のトンネル工事を2012年までに完成して、東町地域内の改修工事はそれが終り次第取りかかるとのことだったが、予定より3年経過しても工事に着手できていない。地区内では、毎年1年から2年おきに浸水の被害を受けている。今年も7月16日と9月10日に床上、床下の浸水被害を受けている。

大雨の予報が出たり、警報が出ると夜も安心して眠れず、夜中に起きて川の水位を見たり、道路が川になっていないか心配して見に行ったりすることが多々ある。

そこで安全で安心して生活ができるよう、早急に改善工事をお願いしたい。

JR宇都宮駅東のトンネル工事が、どのような理由で4年近くも遅れているのか、また、東町地内における改修工事が、いつ着手して、いつ頃までに完成するのか、具体的な話を聞きたい。

### 回答 所管課：河川課

【市長】

奈坪川の河川工事は御幸が原町、東町、御幸町、下栗町までの河川工事になる。

河川工事は下流から行うので、現在、下流から工事を進めているが、途中でトンネル工事が中断してしまった。その理由は、工事中に地盤の軟弱性が判明したためであり、その補強工事に時間を費やしてしまった。本年度中にはこのトンネル工事も終了

する。現在、東町と今泉新町の土地買収を行っており、工事の設計、発注などは土地買収が済み次第になるので、いつまでに工事が完了するのか回答するのは難しい。

浸水被害について、これまでも大変御苦勞されているかと思うが、行政も土嚢積みなど様々なことを行っており、貯留施設も検討していく。

#### **発言 4 高齢者の地域活動への参加促進について**

高齢者の地域活動の参画促進について、高齢者が自立した高齢期を迎え、豊富な経験をまちづくりの担い手として活かし、気軽な活躍に繋がる宇都宮市の地域活動への参加促進、支援策などについて伺いたい。

また地域活動に参加したいと考えている高齢者をスムーズに地域活動に結びつけていくにはどうしたらよいかアドバイスをいただきたい。

#### **回答 所管課：みんなでまちづくり課，高齢福祉課**

【市長】

地域活動への参画促進、支援策であるが、地域全体で発災型の防災訓練や御幸地区のように夏まつり、文化祭での高齢者のフラダンスや日本舞踊の発表など、高齢者の地域参加のきっかけづくりとなる様々な活動が行われている。こうしたことは大切なことであり、市としては、豊富な知識や経験をお持ちの高齢者が、充実した高齢期を送ることができることが何よりも素晴らしいことだと思う。

つまり、自身で動かれて、いつまでも支える側にいていただくことが大切であることから、老人クラブやシルバー人材センターなど支援に取り組んできた。こうした支援により、参加がしやすくなり、また、自分のためだけでなく結果的に社会貢献に繋がっていく。

昨年度からは、清掃ボランティアなどの地域貢献活動をした際に、ポイントを付与する「高齢者等地域活動支援ポイント事業」を開始し、より多くの高齢者が活躍できるように取り組んでいるところである。

また、高齢者の自治会活動への参加促進であるが、大変難しいことであると思う。これは高齢者だけではなく、若い世代を掘り起こそうと自治会の皆様も苦勞していると思うが、これが大変難しい。地域内の仲間や顔見知りを増やす取組として、ハイキングや料理教室などの趣味のサークルや地域イベントなどに協力するボランティアグループをつくり、誰でも気軽に参加できる環境を整えている地区もある。

地域内に広く参加者を募るきっかけづくりを積極的に行い、出番をつくり、その方の役割を作らなければ、おそらく手持ち無沙汰になってしまい、声を掛けられたが期待されているのかどうかかわからないということになってしまう。そうならないように、出番や居場所、役をつくる必要があると思う。

また、書初め、蕎麦打ち、ゆかたの着付けを高齢者に手助けしてもらっている地区もある。様々な方と話をしているので、高齢者の方とか自治会に入って頂いた方が集まった後は、必ず飲み会をやるのが良いという話もあった。

他の地区の取組で良い事例があれば、積極的に提供していきたいと思う。

<b>発言 4</b>	<b>御幸公園への照明灯の増設について</b>
-------------	-------------------------

御幸公園の園路に照明灯が設置されているが、一部暗い場所があるので、そこに照明灯を設置してほしい。ここは、夜、運動をする人がたくさんいるので、照明灯があれば安心して運動や散歩ができるのでよろしく願います。

<b>回答</b>	<b>所管課：道路保全課，公園管理課</b>
-----------	------------------------

【市長】

場所を確認してどのような対応をするかを後ほど連絡する。